

平成 22 年 度

財団法人 健康・体力づくり事業財団

事 業 計 画 書

財団法人 健康・体力づくり事業財団

平成22年度事業活動基本方針

本年度は、当財団設立以来約30年間続いていた国からの補助金・委託費が基本的には廃止され、自立した法人運営を本格的に開始する。

業務の面では、当財団がこれまで培った国や関係団体等との良好な関係は継続させ、本年度も引き続き広く国民の健康・体力づくりに寄与すべく、「人材育成」「普及啓発」「調査研究」の各事業を従来同様に自己努力で推進する。

また、今後は、公益財団法人への移行に向けて公益的な事業をより充実させる。特に重要な事業の柱である健康運動指導者養成事業については、従来以上に「社会に役立つ」「社会から信頼・期待される」資格を目指す。健康運動指導者は、現在、特定健診・特定保健指導においても、医師の管理のもと運動指導に関わるなどにより疾病のリスクを持った人に対して指導を行うことで活躍の場を広げており、その活動は、医療費低減の一助となることも期待されている。これにより、健康運動指導者が全国各地でその核となり、地域に根ざした健康・体力づくりの輪を広げていくことを目標とする。

同時に時代にあった効果的な広報活動にも注力し、財団設立時の趣意書に掲げた「自分に対し健康に関する基礎知識の普及啓発」を推進し、当財団自身の社会的な信用・認知度も向上させるべく事業を遂行する。

上記の基本方針の下、次の各事業を展開する。

- 健康運動指導者の養成研修事業
- 普及啓発事業（月刊誌、ホームページ等）
- 各種イベントによる実践活動事業（大会等）
- 調査研究事業
- 教育教材・広報資料等の作成事業

平成22年度事業計画

項 目	説 明
<p>1. 指導者の養成研修事業</p> <p>(1) 健康運動指導士の養成</p> <p>(2) 健康運動実践指導者の養成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講習会 <ul style="list-style-type: none"> * 120 単位コースの 15 科目を 6 カテゴリーに分け、養成講習会を開催 前期【平成 22 年 4 月～8 月】 <ul style="list-style-type: none"> 北海道会場 4 カテゴリー (44 単位コース、40 単位コース、24 単位コース) 定員 100 名 東京会場 6 カテゴリー (120 単位コース、69 単位コース、44 単位コース、40 単位コース、24 単位コース) 定員 480 名 大阪会場 5 カテゴリー (69 単位コース、44 単位コース、40 単位コース、24 単位コース) 定員 200 名 福岡会場 5 カテゴリー (69 単位コース、44 単位コース、40 単位コース、24 単位コース) 定員 240 名 後期【平成 22 年 10 月～平成 23 年 2 月】 <ul style="list-style-type: none"> 東京会場 6 カテゴリー (120 単位コース、69 単位コース、44 単位コース、40 単位コース、24 単位コース) 定員 420 名 愛知会場 5 カテゴリー (69 単位コース、44 単位コース、40 単位コース、24 単位コース) 定員 130 名 大阪会場 5 カテゴリー (69 単位コース、44 単位コース、40 単位コース、24 単位コース) 定員 240 名 ・大学等養成講座 養成校 64 校 ・認定試験 平成 22 年 9 月 20 日、11 月 23 日、平成 23 年 3 月 21 日 ・登録更新 2,498 名 (対象) <ul style="list-style-type: none"> ・養成講習会 <ul style="list-style-type: none"> 宮城会場 定員 100 名 東京会場 定員 100 名 愛知会場 定員 100 名 兵庫会場 定員 100 名 福岡会場 定員 100 名 沖縄会場 定員 50 名 認定試験 平成 22 年 8 月、10 月、12 月、平成 23 年 3 月 ・大学等養成講座 養成校 160 校 認定試験 平成 22 年 11 月～平成 23 年 2 月 ・登録更新 5,328 名 (対象)

項 目	説 明
<p>(3) 健康づくりのための運動指導者養成事業運営委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養成事業の在り方等制度全般にわたる恒常的な見直し等の審議 ・ 指導士・実践指導者養成カリキュラム検討専門部会（養成カリキュラムの検討） ・ 指導士認定試験専門部会（指導士認定試験に関する事項の検討） ・ 実践指導者認定試験専門部会（実践指導者認定試験に関する事項の検討） ・ 指導士養成校専門部会（指導士養成校認定に関する事項の検討） ・ 実践指導者養成校専門部会（実践指導者養成校認定に関する事項の検討）
<p>(4) 健康運動指導士・健康運動実践指導者人材情報提供データベース</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康運動指導士・健康運動実践指導者人材情報提供データベース管理システムの運用
<p>(5) 特定保健指導の実施にかかる運動指導担当者研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準（平成19年厚生労働省令第157号）第7条第1項第2号及び第8条第1項第2号の規定に基づき、厚生労働大臣が定める「運動指導に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者」としての147時間の運動指導担当者研修を開催 北海道会場、東京会場、愛知会場、大阪会場、福岡会場において開催
<p>(6) 健康運動指導士登録更新講習会「基礎講座」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新の健康づくり施策等をテーマとし、平成19年度以降の新規登録者及び更新登録者に対し、登録日から3年を経過した日以降を目途に当該講座の受講（5単位以上）を義務付け Aコース ①国の施策の現況及び健康運動指導士の役割 ②特定健診・特定保健指導、介護予防等の理論と実践 ③メタボリックシンドローム予防・改善のための減量指導 等 東京都会場 平成22年4月24日 宮崎市会場 平成22年5月15日 宇都宮市会場 平成22年6月12日 福岡市会場 平成22年6月19日 東京都会場 平成22年7月16日 金沢市会場 平成22年7月31日 高松市会場 平成22年9月18日 仙台市会場 平成22年9月25日 名古屋市会場 平成22年10月11日 大阪市会場 平成22年11月6日

項 目	説 明
	<p>岡山市会場 平成 22 年 11 月 20 日 東京都会場 平成 22 年 12 月 3 日 長野市会場 平成 23 年 1 月 22 日</p> <p>B コース ①国の施策の現況及び健康運動指導士の役割 ②運動基準・運動指針の概要及び生活習慣病に関する知識 ③健康行動の開始・継続を促すための行動変容の洞察及び手法等について 等</p> <p>広島市会場 平成 22 年 5 月 30 日 札幌市会場 平成 22 年 6 月 26 日 青森市会場 平成 22 年 7 月 4 日 静岡市会場 平成 22 年 8 月 14 日 東京都会場 平成 22 年 9 月 11 日 草津市会場 平成 22 年 10 月 2 日 千葉市会場 平成 22 年 10 月 30 日 大阪市会場 平成 22 年 12 月 11 日 福岡市会場 平成 22 年 12 月 17 日 京都市会場 平成 23 年 1 月 29 日 東京都会場 平成 23 年 2 月 5 日 名古屋市会場 平成 23 年 2 月 22 日 神戸市会場 平成 23 年 2 月 26 日</p> <p>(7) 体力づくり運動指導者等中央セミナー (申請中)</p> <p>(独法)日本スポーツ振興センター助成事業による講習会 ・「体力づくり」に関して専門的知識を有する者(体育指導委員、総合型地域スポーツクラブ関係者、フィットネス関係者、健康運動指導者等)を対象とした中央セミナーを開催(定員 500 名) 開催日 平成 22 年 11 月(予定) 開催地 東京都内</p>
<p>2. 普及啓発事業</p> <p>(1) 広報誌「健康づくり」の発行</p> <p>(2) 財団ホームページによる情報提供</p> <p>(3) 視聴覚教材等作成事業</p>	<p>・健康・体力づくりの指導者、関連組織・団体等を対象 ・国や地域の健康・体力づくり情報、運動に関するエビデンス、指導方法等を提供 ・毎月 1 回(各号 20,000 部作成)発行 都道府県、市町村、関係機関等に配布</p> <p>・一般の方を対象 ・健康・体力づくりに関する情報やデータ、健康チェック、エコラリーなど楽しく運動を促すコーナーや健康運動指導者に関する情報提供</p> <p>(財)日本宝くじ協会からの助成事業による普及事業 ・視聴覚教材(DVD)及び啓発資料を制作 都道府県、保健所、市町村及びその他の健康・体力づくり団体・施設に無償配布</p>

項 目	説 明
(4) 健康日本21推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・健康日本21推進全国連絡協議会の運営 ・すこやか生活習慣国民運動実行委員会の運営 ・健康日本21推進全国連絡協議会 会員団体主催イベント等への支援・協力 ・健康日本21推進地方大会(2ヵ所開催予定) ・健康日本21全国大会(開催地:愛媛県) ・健康日本21普及のキャンペーン活動 ・健康日本21ホームページ運営
3. 各種イベントによる実践活動事業	
(1) 全国地域保健師学術研究会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第32回全国地域保健師学術研究会の開催 (富山県等と共催) 開催日 平成22年11月18日、19日 開催地 富山市
(2) 地域保健全国大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回地域保健全国大会の開催 (開催県、関係団体等と共催) 開催日 平成22年11月2日 開催地 新潟市
(3) 札幌国際スキーマラソン大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「歩く」、「走る」のスキー滑走大会 (札幌市、朝日新聞社等7団体と共催) 開催日 平成23年2月13日 開催地 札幌市
4. 調査研究事業	
(1) アクティブエイジングを促進する啓発事業パッケージとモニタリング開発のための実践モデル事業(2年目を申請中)	<ul style="list-style-type: none"> (独法) 福祉医療機構からの助成による調査事業 ・団塊世代を中心とした中高年者の身体活動における潜在的ニーズを表出させるための啓発情報パッケージを開発
(2) 体力の趨勢に関する調査研究(申請中)	<ul style="list-style-type: none"> (独法) 日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ助成による調査事業 ・札幌国際スキーマラソン参加者のうち、前日に事前登録される参加者の中から希望者(約250名)を対象に、日頃、個人的には測定困難な「脚筋力」「骨年齢」「血管年齢」「超音波による大腿部筋厚」等幅広い年代の参加選手の体力測定を実施することにより、一般的な生活を送っている中高年とのデータ比較から運動を継続することの優位性を検証

項 目	説 明
(3) 貯筋運動プロジェクト (申請中)	<p>(独法) 日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ助成による調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高齢の運動非実施者の運動開始・継続を促すための場の創設、健康運動指導者の活躍の機会の拡大を目的に、「貯筋運動」を資格所持者に学んでもらい、彼らを総合型地域スポーツクラブへ派遣して、地域の運動非実施中高齢者を対象に、運動開始・継続を促すモデル事業。「貯筋運動」実施の前後に、参加者の身体的・心理的变化を測定し、効果を検証
(4) 「健康・体力づくりと運動に関する文献データベース」の運用	<ul style="list-style-type: none"> 健康・体力づくり指導者、研究者等を主な対象に、健康・体力づくりに関するエビデンスに基づいた正確で最新の情報を提供するために構築したデータベースの更新及び運用管理
(5) 情報収集・提供事業	<ul style="list-style-type: none"> 「運動」「健康運動指導者」の意義や価値を高め、周知することを目的にした日本公衆衛生学会の運動分科会に参加するとともに同学会において基調講演とシンポジウムを協賛 <ul style="list-style-type: none"> 開催日 平成 22 年 10 月 27～29 日 (基調講演・シンポジウムは 29 日) 開催地 東京都 日本体力医学会、生涯スポーツ全国会議等で調査研究の周知や最新の健康・体力づくり情報を入手
5. 教育教材・広報資料等の作成事業	<ul style="list-style-type: none"> 教育教材、パンフレット、DVD等の出版物を自治体、健康・体力づくり団体・施設、教育機関等へ頒布 「プロの技術」シリーズ発行

